



新春のつどい

1月27日は地元、2月2日は地域・企業・各種団体等を対象にした新春の集いを開催しました。それぞれ多くの皆さんにご来場いただき改めて感謝申し上げます。その時の私の挨拶の一部を掲載します。

ま

ず昨年4月に行われた県議選に關して申し上げます。皆さんの温かいご支援により最も多くの得票を頂戴し3回目の当選を果たすことができました。その上で私の真意を皆さんにお伝えします。今回は私にとって最良の結果でしたが、うかうかしていると容易にひっくり返る厳しい選挙区であり、この得票はあくまで4月9日、一夜限りの結果です。だからこそ私は翌日の朝6時から活動を再開しました。次回の選挙まで3年2ヶ月、決して油断することなく精進して参ります。

昨

年を振り返ると台湾の半導体メーカーTSMCの言葉を耳聞しない日はありませんでした。地元の金融機関によるとこの10年の経済波及効果は6兆8千500億円と言われています。しかもこれは2月24日に開所する第1工場のみであり、進出を決めた多くの関連企業は加味されません。現にTSMCの進出による良い兆候も数字として表れてきました。皆さんも「東京一極

集中」という言葉、耳にされたことがあると思います。東京を除く46の道府県はいずれも人・もの・お金、全て東京に吸い取られています。熊本もご多分にもれず若い人たちが大学進学時、あるいは就職の時に東京に吸い寄せられているのが実情です。熊本県は長らく出て行く人が来る人を上回っていましたが2022年10月、それが逆転しました。出て行く人7万8千人に対して来る人が8万人になりました。これは26年ぶりのことです。

私はこの傾向は当分続くものと思います。働く場所が増える、働く人が増える、自ずと生活する上で不可欠な衣食住の需要は高まります。この経済の好循環をいかに長く、いかに多くの県民に広げていか、私たちに課せられた役割とと思っています。

昨

年12月定例会で蒲島知事は「新しい人に託す時期」と次期知事選への不出馬を表明されました。2015年、県議に当選してから知事とは県政の様々な



課題について議論を重ねました。この間、熊本地震、コロナ、県南豪雨災害など一自治体の財力・知力・体力をはるかに上回る規模の大きな試練が次々押し寄せました。知事はいずれの事案に対しても、怯むことなく常に先頭に立ち全力で取り組まれました。4期16年に渡る蒲島県政は幕を閉じますが、僭越ながら私はこの度の英断に敬意を表します。

本

県はTSMCはじめ後世の県民生活に直結する重要な施策が山積しています。そしてこれらの行く末は次期知事の手に委ねられることになりました。私は直面する諸課題を共有し、議論を通して解消できる候補者として前副知事の『木村たかし』さんを支援してまいります。

高

島は速い、キチンと答える、筋を通し、信頼できる！引き続き県政はもとより、地域はじめ様々な問題にも真摯に取り組んでまいります。

県議会定例会の報告

県議会2月定例会が2月9日から3月4日までの日程で開かれ、令和5年度2月補正予算と令和6年度当初予算について審議し議決しました。その一部をお知らせします。

〔令和5年度2月補正予算〕
総額 297億円

自動車運転手の時間外労働が規制される「2024年問題」への対応として

〔課題〕2024年4月から自動車運転手の時間外労働規制により、物流における輸送能力が不足する恐れや路線バスの運転士不足による路線バス休廃止の動きが拡大する恐れがあります。

(1) 『農産物輸送効率 加速化緊急支援事業』

《事業概要》

- ・事業費 9,800万円
- ・事業内容 県内JAの輸送効率化の取り組みへの支援
- ① 県内JAの農産物集出荷システム構築
- ② 商慣行の適正化推進
- ③ モーダルシフト・レンタルパレット定着支援

(2) 『地方公共交通バス対策 事業』路線バス運転士不足対策

《事業概要》

- ・事業費 1,700万円
- ・事業内容 人材確保、運転士処遇改善支援
- ① 大型2種免許取得経費や人材確保の広報経費への支援
- ② 運転士の定着化を目的に実施する営業所の休憩所、女性用施設整備等に要する経費を支援

※モーダルシフトとは、トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。
※レンタルパレットとは商品を移動・保管するために欠かせない、商品を載せる荷役台「パレット」を必要な時だけレンタルし、使用後は指定の場所に返却するだけで良い仕組みのこと。

〔令和6年度当初予算〕
総額 7,707億円

令和6年度当初予算は知事選を挟んだ予算となるため
※**骨格予算**として編成し、新規施策については年度前半に**※肉付け予算**として追加計上されます。

※**骨格予算**とは基本的な枠組みや大まかな計画を示す予算で文字通り建物の骨組みのようなものです。職員の人件費や生活保護などの扶助費、借金返済のための公債費があたります。

※**肉付け予算**とは新しい知事が選出された後、骨格予算の枠組みをもとに新知事の政策目標や公約に基づき、具体的な支出項目や金額を詳細に反映する予算です。

選挙後の6月議会で**新知事**により選挙戦で訴えた目標や公約を実現するための新規事業が盛り込まれた補正予算が提案されることとなります。



第2工場も熊本へ

2月6日、TSMCの取締役会において熊本での第2工場の建設が正式に決定しました。ソニーとデンソーによる追加投資に加え、新たにトヨタ自動車も出資することになりました。

〔スケジュール〕

建設開始 2024年末まで
稼働開始 2027年末まで

〔生産品目〕

国内最先端となる6〜7ナノメートル、40ナノメートルのロジック半導体

〔雇用予定者数〕

第1、第2工場を合わせて3千400人以上

※**第2工場建設決定**を受けて議会内に『TSMC関連課題解決特命プロジェクトチーム』が設置されました。進出に伴う経済効果に期待する声上がる一方で交通渋滞、水質、地下水、農地、土地利用など解決しなければならぬ課題があります。今後プロジェクトチームは課題解消や正確な情報発信に努め、進出の果実を県内全域に広げたいきます。

